

分科会A2:

実証実験: 教員テレワーク環境:

その必要性と効果

倉敷市立粒江小学校 校長 尾島 正敏



全校児童 440名

14学級(普通学級12 特別支援学級2)

本校 栗山からの遠望

テレワークに込める期待

- 記憶媒体の持ち歩きを防ぐ
- ウィルス感染やデータの外部流失を防ぐ

善意の行為 → 加害者

教職員を守る

倉敷市のネットワーク

- 教育用ネットワーク(公開系)

倉敷教育ネット

- 校務用ネットワーク(非公開系)

学びの扉

昨年度末 教職員1人に1台 校務用コンピュータの配置

リモートAPPを使ったインターネット環境の構築

環境整備の留意点

- テレワーク参加のパソコンにデータを残さない。パソコンの外部記憶装置は使用できない。
- USBキーは、特定の1台を認識して、他のパソコンでは、使用できないようにする。有効期間は、2週間。
- 個人情報以外データを扱う。



使用した教職員の感想

- 休日や、深夜でも仕事をする事ができた。
- 家の落ち着いた環境で集中して仕事が出来た。
- 記憶媒体を持ち帰らなくて良いので、安心できる。
- 仕事の選別をして、時間を有効に使えるようになった。

現状の問題点

- 守ることと公開することの難しさ
- 制約の中での利便性の追求